

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
【発行日】令和 7 年 6 月 23 日(2025.6.23)

【公開番号】特開 2024-10924(P2024-10924A)  
【公開日】令和 6 年 1 月 25 日(2024.1.25)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-015  
【出願番号】特願 2022-112525(P2022-112525)  
【国際特許分類】

F 2 1 S 41/265(2018.01)  
F 2 1 S 41/26(2018.01)  
F 2 1 S 41/143(2018.01)  
F 2 1 S 41/151(2018.01)  
F 2 1 V 5/04(2006.01)  
F 2 1 W102/135(2018.01)  
F 2 1 Y115/10(2016.01)  
F 2 1 Y115/30(2016.01)

10

## 【F I】

F 2 1 S 41/265  
F 2 1 S 41/26  
F 2 1 S 41/143  
F 2 1 S 41/151  
F 2 1 V 5/04 2 5 0  
F 2 1 W102:135  
F 2 1 Y115:10  
F 2 1 Y115:30

20

## 【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 6 月 13 日(2025.6.13)

## 【手続補正 1】

30

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の発光素子と、  
前記複数の発光素子の各々から出射する光を透過させるレンズと、  
前記レンズを透過した前記光を通過させる筐体と、  
を含み、

40

前記複数の発光素子は、車両への搭載時の左端側に配置される少なくとも 1 つの第 1 発光素子と、当該車両への搭載時の右端側に配置される少なくとも 1 つの第 2 発光素子と、を有し、

前記第 1 発光素子から出射して前記レンズを透過した第 1 光は、前記車両への搭載時の前後方向を基準として右方向へ偏って拡がるように前記筐体を通過し、

前記第 2 発光素子から出射して前記レンズを透過した第 2 光は、前記車両への搭載時の前後方向を基準として左方向へ偏って拡がるように前記筐体を通過する、  
車両用灯具。

【請求項 2】

前記第 1 光は、前記車両への搭載時の前後方向を基準にして前記右方向へ進む成分が前

50

記左方向へ進む成分よりも多く、

前記第 2 光は、前記車両への搭載時の前後方向を基準にして前記左方向へ進む成分が前記右方向へ進む成分よりも多い、

請求項 1 に記載の車両用灯具。

【請求項 3】

前記筐体は、第 1 開口と当該第 1 開口よりも径の小さい第 2 開口を有しており、

前記レンズは、光出射面が前記筐体の前記第 2 開口に近い側に配置されており、当該光出射面から前記第 1 開口側へ前記第 1 光及び前記第 2 光を出射させる、

請求項 1 に記載の車両用灯具。

【請求項 4】

10

前記複数の発光素子は、前記第 1 発光素子と前記第 2 発光素子の間に配置された 1 つ以上の第 3 発光素子を有し、

前記第 3 発光素子から出射して前記レンズを透過した第 3 光は、前記車両への搭載時の前後方向を基準として略対称に拡がるように前記筐体を通過する、

請求項 1 に記載の車両用灯具。

【請求項 5】

前記第 1 光及び前記第 2 光は、前記第 3 光よりも広角に出射する、

請求項 4 に記載の車両用灯具。

【請求項 6】

20

前記複数の発光素子は、前記第 1 発光素子と前記第 2 発光素子の間に配置された 1 つ以上の第 3 発光素子を有し、

前記複数の発光素子から出射する光は前記レンズを透過することによってロービーム及びハイビームを形成し、

前記第 1 発光素子と前記第 2 発光素子から出射する光が前記レンズを透過することによって前記ロービームの一部を形成する、

請求項 1 に記載の車両用灯具。

30

40

50